

科目番号	64	科目名	スポーツ史(V)	
英文科目名	Sports History			
大学・短期大学名	立命館大学			
連絡先	教務課(BKC)			
	TEL :	077-561-3457	FAX :	077-561-3458
担当教員	西原 茂樹		( スポーツ健康科 学部 非常勤講師 )	
開講期間	後期	会場	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	
授業期間	2010年9月29日(水)～2011年1月19日(水) <毎週水曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30			
履修年次	1 回生以上	単位数	2	
単位互換定員	10名程度	超過時の選考方法	書類選考	
成績評価方法	定期試験(筆記)	70	%	
	レポート試験(期末)	30	%	
	平常点(出席・授業態度)	0	%	
	その他( )		%	
別途負担費用	なし			
その他特記事項	数回に一度の割合で、授業の感想・質問・要望等を授業後に書いてもらい、それを日常点として組み入れる。			
<b>&lt;講義概要・到達目標&gt;</b>				
歴史学は過去の史実を通じて現在の課題を照らし出す導きの糸である。本講義では古今東西のスポーツを題材にし、それらが社会の中で果たした役割や機能、ならびに生活世界に付与された価値などについて考察する。ここで言うスポーツとは、いわゆる「近代スポーツ」に限定されず、人びとの生活の場で独特な意味を持って展開された娯楽や祝祭の類も含まれる。スポーツ史の範囲は、したがって国家などによる制度としての学校体育やスポーツ組織をめぐる政策展開とともに、人びとの生の表現あるいは主体形成の場でもある民衆娯楽の世界、そして両者の緊張関係にまで及ぶ。歴史に刻まれたスポーツの探究は、今日のスポーツ問題を深部から理解するための重要な素材を提供するであろう。				
<b>&lt;授業スケジュール&gt;</b>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月29日	「日本人とスポーツ」の現在 スポーツ実践の「日常化・個人化」		
2	10月6日	江戸時代における運動文化とそれらをめぐる諸条件 武芸、相撲、運動量、着物社会、養生術		
3	10月13日	明治時代における近代スポーツの普及過程[1] 軍隊・学校への体操・スポーツ導入		
4	10月20日	明治時代における近代スポーツの普及過程[2] 女性と近代スポーツ		
5	10月27日	明治時代における近代スポーツの普及過程[3] “精神野球”の形成		
6	11月3日(祝)	明治時代における近代スポーツの普及過程[4] “武道”の誕生		
7	11月10日	大正時代におけるスポーツの「企業化」[1] (ビデオ鑑賞)映画『青春』[1968年:第50回全国高等学校野球選手権記念大会記録映画]		
8	11月17日	大正時代におけるスポーツの「企業化」[2] 甲子園野球の誕生		
9	11月24日	昭和初期におけるスポーツの大衆化[1] “野球狂時代”“スポーツ狂時代”の到来		
10	12月1日	昭和初期におけるスポーツの大衆化[2] “権力装置”としてのスポーツ		
11	12月8日	昭和初期におけるスポーツの大衆化[3] 戦時体制下の体育・スポーツ		
12	12月15日	高度経済成長期におけるスポーツ[1] テレビ時代の到来とスポーツ		
13	12月22日	高度経済成長期におけるスポーツ[2] (ビデオ鑑賞)映画『東京オリンピック』など		
14	1月12日	高度経済成長期におけるスポーツ[3] 東京オリンピック		
15	1月19日	高度経済成長期におけるスポーツ[4] “根性”とスポーツ		
<b>&lt;教科書・参考書&gt;</b>				
特に指定しない。				